

セミナー
第43回

「一般社団法人 白珪社」(東京都千代田区) 助成事業として開催
【教育を軸に子どもの成長を考えるフォーラム】

● 日時

9月26日(土)

9:45~12:00 受付開始 9:30 ~

発達で心配だったわが子が、 いま、正社員として働く。

学習を通して育まれたコミュニケーションの力、 粘り強く真面目に努力する姿勢

「発達上の課題」を抱える子どもの保護者にとっての心配事は「どうしたら課題を改善できるのか?」「社会生活を送れるようになるだろうか?」「就職し自立できるのだろうか?」ではないでしょうか。

Tさん(社会人/23歳)は昨春、大学を卒業後、社会人としての一歩を踏み出しました。幼児期、落ち着きがなくて言葉の遅れなどもあったTさん。しかし、「どうにかできないか」と考えた両親の決断により、年長からエルベークの学習を開始。高校まで学習を続け、大学進学などTさんは大きく成長しました。大学4年になると就職に向け再び教室で学習の機会をもち、昨年4月、大手企業の特例子会社に障害者雇用枠で就職。今年4月、正社員になりました。

小学校に入学してしばらく、母親は生まれたばかりの長女を抱えて学校へ付き添いました。学校の授業についていけるように家庭でも学習の時間を設け、文字の読み書きの練習などを継続。音楽、体育の練習も家族で取り組みました。そして、6年間の海外生活の際には

教室の学習をオンライン授業で継続。粘り強く真面目にコツコツと頑張るTさんの人柄が地道な学習態度によって形作られていきました。

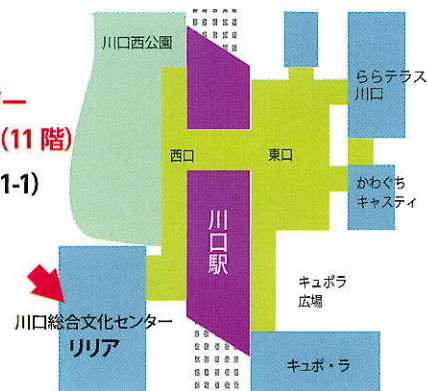
「これまで自分たちが辿ってきた歩みを振り返ると感慨深い」と語るTさんの父親と一緒に成長記録を追ってみたいと思います。教育がもつ力、学習を通してどんな力と習慣が身につくのか、大人の本質的な支援とは何か……など。このセミナーを通し、「発達障害をどうとらえ、どう接し教えていくか」、そして「就労をめざす具体的な手順と目標」について確かな事実を知ることにより、多くの保護者の方と指導に携わる方に見通しと勇気を与えてくれると確信します。

● 会場

川口総合文化センター
リリア 大会議室(11階)

(埼玉県川口市川口 3-1-1)
電話 048-258-2000

■ JR 川口駅西口すぐ



プログラム

【はじめに】 9:45

1……【対談】 9:50 ~ 11:15

Tさん（父親）+

河野俊一 さん（エルベテーク代表 /

医療法人エルベ理事）

2……【まとめ】 11:15 ~ 11:30

3……【質疑応答】 11:30 ~ 11:45

【おわりに】 11:45



定員／ 60 名（対象＝保護者、学校関係者、保育・福祉関係者など）

参加費／ 1,500 円（資料代等）

お申し込み／事前申し込み制

▶当 NPO 法人 HP「申し込み専用フォーム」から

教育を軸に

Q 検索

▶電話（080-8726-1000）でも受け付けています。

▶FAX でのお申し込みは「9月26日のセミナー参加希望」と明記の上、お名前・ご住所・ご連絡先を添えて 048-837-6926 宛に FAX 願います。

主 催／ 特定非営利活動法人 Education in Ourselves 教育を軸に
子どもの成長を考えるフォーラム

〒336-0026 さいたま市南区辻 5-6-12-408

東京事務所 〒151-0053 渋谷区代々木 2-36-10-103



◀ホームページの QR コードです

Tさん（父親）

長男 T さんの子育てにあたり、家族みんなで発達障害という壁に挑んできました。学校の問題や友達とのトラブル、また反抗的になった時にもエルベテークと相談し、冷静な対応を心がけました。また、家庭学習でも漫然とした進め方ではなく T くんが目標に対して計画を立ててチャレンジする姿を応援するという役割を一貫して果たしました。

「精神的にもかなり大変な時期もありましたが、先にある未来を見据えながら、目先の課題を家族みんなで共有して、一緒になって、ひとつひとつ乗り越える努力をする、という意識を持つことが大切だと感じております」。T さんのメッセージです。

河野俊一 さん（エルベテーク代表 / 医療法人エルベ理事）

1995 年、民間の教育機関エルベテーク設立。発達の遅れと課題をもつ子どものためのコースも開設し、現在に至る（川口 / 大阪）。30 年間の豊富な指導実績と実例をもつ。当セミナーではのべ 40 以上の実例を保護者とともに紹介。「学校は子どもにとって大切な学びの場である」との視点に立ち、学校の教師向けセミナーや講演会を通して親子が学校と連携してより良い関係を築けるように導いている。

著書に『発達障害の「教える難しさ」を乗り越える』『自閉症児の学び力をひきだす』（いずれも日本評論社）、『誤解だらけの「発達障害」』『子どもの困った！行動がみるみる直るゴールデンルール』（いずれも新潮社）など。

後 援／ 文部科学省

厚生労働省 こども家庭庁 内閣府 埼玉県 さいたま市 川口市 埼玉県教育委員会 神奈川県教育委員会 草加市教育委員会 越谷市教育委員会 鴻巣市教育委員会 北区教育委員会 豊島区教育委員会 足立区教育委員会 荒川区教育委員会 埼玉県社会福祉協議会 川口市社会福祉協議会 埼玉県小児科医会 日本言語聴覚士協会 全日本私立幼稚園連合会 全国私立保育連盟

協 力／ NPO 法人 ともくん家（生活介護事業所 もんきいぽっと）

「発達の遅れを指摘された子どもたちが少しでも良い方向へ進むにはどうしたらいいか」という問題意識に立ち、「ハンディがあっても、小さい頃から適切な関わり方（接し方・教え方）を続ければ、子どもが努力することを学び、子ども自身の力を伸ばせる、伸ばした」という実例を紹介しています。

このセミナーから生まれた出版物です

書店やオンライン書店でお買い求めください。



親が語る、「発達障害の遅れ」が
気になる子どもの教え方 ①

これまでセミナーで報告された対談形式の実例の中から 7 回分をピックアップし、1 冊の本にまとめた成長記録集

発行＝当 NPO 法人
定価 1,650 円（税込）



① せん、すうじ・かず

「書く」と学び方に
こだわった学習
ドリル



③ くりさがり・くり
あがり

「10 になる数」と「10 までのたしざん・ひきざん」ができる子どもへ、より効果的な学び方を提案する学習ドリル



② 10 までの
たしざん・ひきざん

「たして 10 になる数」とたしざんの基本的な組み合わせを九九のように覚える学習ドリル



④ とけい、かたち

子どもたちが生活の中で時間・形を認識・意識しながら行動できるように導く学習ドリル

力をひきだす、学びかたドリル 「書く」からはじめるシリーズ（全 4 巻）

各巻／定価 1,100 円（税込） 監修＝河野俊一 発行＝当 NPO 法人